

参加者呼気測定 たばこの害理解 倉吉で禁煙催し

4月31日の「世界禁煙デー」にちなみ、倉吉市山根のパープルタウンで1日、禁煙を支援するイベントが開かれ、参加者がたばこの害や健康に関して認識を深めた。

鳥取県中部医師会などが主催。中部地区は妊婦の喫煙率が4・9%と鳥取県の3・2%に比べて高い（2012年度、県子育て応援課調べ）。全県的に女性の喫煙率が高まっている。禁煙教育の徹底

コーナー



肺の機能を測定する参加者＝1日、倉吉市山根のパープルタウン

一酸化炭素濃度測定器などが置かれ、参加者が次々と測定し、医師や薬剤師らが禁煙の方法をアドバイスした。県中部総合事務所福祉保健局の吉田良平副局長は「妊婦が喫煙すると胎児の発育が悪く、いろんな障害になる可能性が高くなる。内服薬やニコチンパッチを使えば、たばこは楽にやめられる」と話していた。

と女性の喫煙防止を重点に開いた。

会場には喫煙の害を示すパネルや呼気中の